

## ダイナックス、CO2 排出量削減を目的に 苫小牧工場にバイオマスボイラの導入を決定

株式会社ダイナックス(以下「当社」)は、苫小牧工場に、木質チップを燃料とするバイオマスボイラ(能力:蒸発量4トン/h)の導入を決定しました。

当社は、2050年カーボンニュートラル達成に向けた活動を進めており、2030年に2019年度比 GHG 排出量△46%減を目標に掲げ、省エネ、再エネ、および創エネへの取り組みを推進しています。

本バイオマスボイラ導入はその一環として取り組むもので、経済産業省による令和4年度先進的省エネルギー投資促進支援事業の助成を受け、2022年11月より工事を開始し、2024年1月の運転を予定。燃料については、産業廃棄物の解体材などを選別・破碎した木質チップに自社で発生する木質含有の廃棄物を加えることを予定しCO2排出量の削減だけでなく、廃棄物の削減効果もあります。

今回、バイオマスボイラ導入により天然ガス用ボイラ12台、A重油用ボイラ1台を停止し、天然ガス使用量は工場全体の約31%、A重油は100%削減できます。CO2排出量としては年間約3,501トンの削減を見込んでおり当社全体の9.3%に相当します。

<バイオマスボイラ参考写真>



バイオマスボイラ仕様	定格実際蒸発量: 4トン/h 燃料: 木質チップ
導入施設および所在地	ダイナックス苫小牧工場 (北海道苫小牧市)
着工月	2022年11月
運転開始予定	2024年1月

当社は本再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境に配慮した製品群の拡充、生産体制の双方からカーボンニュートラルに挑戦し、SDGsの理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献して参ります。

<バイオマスボイラを導入する苫小牧工場>



【株式会社ダイナックス】

名称	株式会社ダイナックス <a href="https://www.dynax-j.com/">https://www.dynax-j.com/</a>
所在地	北海道千歳市上長都 1053 番地 1
代表者	代表取締役社長 伊藤和弘
事業内容	乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の湿式摩擦材、プレート等、摩擦機能部品の製造販売

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ダイナックス カーボンニュートラル推進部 石谷

代表 TEL : 070-1274-0932、 E-mail : [ishitani-t@mail.dxj.co.jp](mailto:ishitani-t@mail.dxj.co.jp)